

# 発酵 ツーリズム につぼん/ほくりく

## MUSEUM x TOURISM

### 日本各地の発酵食が大集合!

12月4日(日)まで開催中

金津創作の森美術館アートコア

開館時間 / 10:00 ~ 17:00(最終入場 16:30)  
 休館日 / 月曜日 観覧料 / 一般 1,000円(800円)  
 中・高校生 600円(400円) 65歳以上・障害者各半額、  
 小学生以下・障害者の介護者(当該障害者1人につき1人) 無料  
 ※( )内は20人以上の団体料金

本展は、都道府県ごとの多種多様な発酵文化と、北陸独自の発酵文化を視覚のみならず、嗅覚、味覚を通して楽しみながら知ることができます。また、会場のショップでは、全国の珍しい発酵食品が購入できます。ぜひ、ご友人やご家族と一緒に、旅行気分でご来場ください!



ふく割使えるにゅう♪

買える

日本全国のユニークな発酵食が集まる

知る

47都道府県それぞれのローカル発酵食品が一同に。



おにゅうくん  
 発酵の使者  
 日本中に張り巡らされた水脈から、全国の発酵文化を辿る。(また新米。)

学べる



しょうへい 招聘キュレーター 小倉ヒラク氏  
 による展覧会ガイドやトークも開催!



### 陶芸教室 生徒募集中

10月開講の生徒募集中! 初心者コースでは、基本的な作り方や道具の使い方を学びます。教室の詳細は、創作工房へ気軽にお問い合わせください。

半年(5回講座/10月~翌年3月) 木・金曜日、2日間通して1講座/月1回 受講料/15,000円(税込)  
 創作工房 TEL.0776-73-7802



新型コロナウイルス感染症に関する対応について

- 発熱や咳など、風邪の症状が見られる人および、体調の優れない人はご来館をお控えください。
- マスクの着用による咳エチケットや手洗い、消毒液による感染防止対策に、ご協力をお願いします。

- 月曜休館(祝日の場合開館、翌平日休館)
- (公財)金津創作の森財団事務局 TEL.73-7800 <http://sosaku.jp/>
- アンビション(レストラン&森の結婚式)問合せ アンビション TEL.73-4141



### あま〜い梨をありがとう!

◆9月21日(水) 金津東小学校 ほか

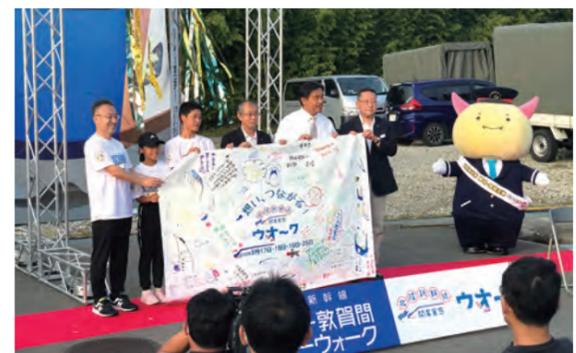
市の特産である梨(豊水)を市内の児童や生徒に味わってもらおうと、あわら梨部会の生産者の皆さんから梨380個を寄贈していただきました。



市は、この梨を学校給食で提供したほか、梨ができるまでの様子や生産者の思いなどを、児童や生徒に伝える食育を実施しました。

### 新幹線の思いをつなげる!

◆9月17日(土)、18日(日)、19日(月・祝)、25日(日) 市内



北陸新幹線開業を実感してもらおうと、県が「北陸新幹線開業実感ウォーク」を開催しました。これは、寄せ書きが書かれたフラッグをたすき代わりに、北陸新幹線敦賀車両基地から越前加賀県境の館までを4日間かけて、走ったり、歩いたりするイベントです。

市内を歩いた親子は「長い距離を歩いて疲れたが、とても達成感がある。開業が待ち遠しい」と話してくれました。

### いつまでもお元気で

◆9月26日(月) 市内



今年度100歳を迎える市内の高齢者にお祝いを贈りました。対象となったのは8人で、そのうち新宅美代子さんの元へ市長が訪問し、国からの祝状と銀杯、市からの祝状と記念品、お花を手渡しました。

元気の秘訣を伺うと「毎日3食欠かさないこと」と笑顔で話してくれました。100歳を迎えられた皆さん、これからも元気に過ごしてください。

まちかど graffiti では、広報係が取材した“あわらの話題”をお届けします!



※ 新型コロナウイルス感染症防止対策を行った上で、取材しています。

### 五感で楽しむ

◆9月17日(土) 金津創作の森美術館



「発酵ツーリズムにつぼん/ほくりく」の開幕式が行われ、関係者ら約80人が出席しました。この展覧会では、47都道府県の発酵食品や発酵文化を紹介しています。また、実際に発酵食品を購入できるほか、各地を巡る発酵ツアーの申し込みができ、より深く発酵文化を味わうことができます。

本展のキュレーターである発酵デザイナーの小倉ヒラクさんは「どう作られたか、ストーリー性を大事にしている。五感を研ぎ澄まし、楽しんでもらいたい」と話していました。この展覧会は、12月4日(日)まで開催しています。

### ありがとうございます

◆9月21日(水) 市役所



あわら市赤十字奉仕団の皆さんから、南越前町災害義援金をいただきました。これは、8月の大雨で被害に遭われた皆さんのために使ってほしいとの思いで募集をしたものです。230人の団員に声掛けを行い、約21万円もの義援金が集まりました。

同団の土田ゆり子委員長は「被災者の立場になって、何か支援できないかと考え行動した」と話してくれました。この義援金は、日本赤十字社福井県支部に送られ、災害の復興に充てられます。